

平成18年度第1回法務委員会(議事録少)

日時 平成18年6月13(火) 1300~1700

場所 操縦士協会事務局

出席者 熊坂、長谷川、染谷、友田各委員

1. 平成17年度第8回法務委員会議録確認
2. 総会報告 次期法務委員会担当理事について
 - ・ 千葉理事に法務委員会担当をお願いしている。また大久保理事にも訓練終了後委員会出席を打診している。将来的には千葉理事に法務委員長を兼任していただくことになる予定です。
3. 907裁判のその後について
判決要旨について検討した。裁判所の無罪判決は、航空事故のようなシステム性事故における立件の限界を感じさせるものがある。検察側の立場から見ると今回の控訴自体を法務委員会として不当であるとはいえない。時期的にも間が開いているため、見解は見送ることとする。
4. JA3435事故について
引き続き委員長が対応 行政処分の詳しい内容や不起訴経過についてまとめる
5. JALJ2004.9月発生のF2408について
航空局技術部乗員課より事故調査報告書に対する質問書があり、回答後、行政処分はいまだ下されていない。 専門官の移動により、事務手続きが滞っているのではないか？
6月下旬以降に何らかの動きがあるのではないか？
6. シンポジウムの開催計画について
 - ・ 「航空事故と刑事・民事裁判について」(仮題)パネリストや内容について原案を練ってから今年度中には何らかの目処をつけたい。パネリストについては多種にわたり集めたいが弊害も大きいので慎重に検討してゆくこととする。
7. 懸案事項について
小冊子「事故に遭遇したら」のコンパクト判発行 修正案を作成中
ビデオ作成 現在情報不足で作業が滞っている。

次回法務委員会は7月11日(火) 歓迎会を予定しています。ご出席ください。